

## 大学院改組（案）について

平成24年10月24日

本学大学院の3研究科について、以下のとおり教育研究の充実を図る大学院改組（案）を提案します。

## 記

## 1. 改組の目的

大学院における教育研究は、専門化、先端化する研究とそれらを統合再編成した総合的な学問のバランスのとれた発展を目指し、新しい産業の創出や情報化、国際化、科学技術の進展など諸変化に対応した新たな社会経済システムの創造などの面で独創的な研究開発への期待が大きい。

高知県は、課題先進県とも言われる多くの政策課題を抱える状況にあり、本学は、看護、社会福祉、栄養、文化の各分野に関係する政策課題を題材として、大学院における教育研究を充実し、「高知県の政策課題の解決のための高度専門職業人の育成」を主眼とした大学院へと改組を目指すものである。

また、国際的な課題である災害対策について、本学の強みである看護学教育を災害看護領域として充実させ、国際的な展開と新たな学問領域の開拓を図り、本学の教育の特色として整備するものである。

## 2. 改組の概要

- (1) 健康生活学研究科は、以下の2研究科の博士後期課程に移行して廃止
- (2) 人間生活学研究科及び看護学研究科を博士前期課程・博士後期課程に改編
- (3) 看護学研究科に共同災害看護学専攻を新設
- (4) 教育組織及び学位

現 行		改 組 (案)	
人間生活学研究科 (人間生活学専攻)	修士 (生活科学) 〃 (社会福祉学) 〃 (学 術)	人間生活学研究科 (人間生活学専攻)	修士 (生活科学) 〃 (社会福祉学) 〃 (学 術)
健康生活科学研究科 (健康生活科学専攻)	博士 (生活科学) 〃 (社会福祉学) 〃 (学 術)		博士 (生活科学) 〃 (社会福祉学) 〃 (学 術)
	博士 (看護学)	看護学研究科 (看護学専攻)	博士 (看護学)
看護学研究科 (看護学専攻)	修士 (看護学)	(共同災害看護学 専攻)	修士 (看護学) 博士 (看護学) (DNGL: Disaster Nursing Global Leader)

※学位については、文科省事前相談により修正指導を受ける場合がある。

### 3. 入学定員の変更

研究科	現行定員	改編後定員
人間生活学研究科 博士前期課程	18	18
人間生活学研究科 博士後期課程	0	3
看護学研究科 博士前期課程	15	15
看護学研究科 博士後期課程	0	3
看護学研究科 博士課程 (共同災害看護学専攻)	0	2 (※10)
健康生活科学研究科 博士後期課程	6	0
合計	39	41

※共同災害看護学専攻は、5大学で共同教育課程を構成するため、共同教育課程としての定員は2人×5大学=10人となる。

- ・兵庫県立大学大学院看護学研究科看護学専攻
- ・東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科総合保健看護学専攻
- ・千葉大学大学院看護学研究科看護学専攻
- ・日本赤十字看護大学大学院看護学研究科看護学専攻

### 4. 今後のスケジュール

本理事会の承認が得られれば、平成24年度中の事前相談を経て、平成25年早々に届出あるいは設置申請を行い、平成26年4月より入学生の受け入れを実施する予定

### 【参 考】

高知県公立大学法人中期目標・中期計画

#### 第2-1 教育の質の向上に関する目標を達成するための措置

##### (1) 教育の成果に関する目標を達成するための措置

ア育成する人材 (ア) 高知県立大学 b 大学院課程

各研究科の理念に記載した人材を養成するために、各専門分野において、地域社会の問題をはじめ、国内外の諸課題を解決できる能力を養う教授研究を行う。

##### (2) 教育の内容等に関する目標を達成するための措置

ア高知県立大学 (イ) 大学院課程

① 大学院教育においては、各研究科で設置した教育の目的・目標を的確に達成できる体系的なカリキュラムの編成、大学院教育の内容等を整備する。

② 大学院にあつては、現象を理論的知識や研究成果を用いて現場の問題を解決できる実践的能力を養う教育内容を整える。

高知県立大学大学院再編（案）概要

	現	新
理念・目的	<p>◎看護学研究科（修士課程）看護学専攻</p> <p>○人間生活学研究科（修士課程）人間生活学専攻</p> <p>●健康生活科学研究科（博士後期課程）健康生活科学専攻</p>	<p>◎看護学研究科（博士前期課程・博士後期課程）看護学専攻（博士前期課程・博士後期課程）共同災害看護学専攻（博士課程5年一貫）</p> <p>○人間生活学研究科（博士前期課程・博士後期課程）人間生活学専攻</p>
定員	<p>◎看護学研究科（修士課程） 入学定員15名（収容定員30名）</p> <p>○人間生活学研究科（修士課程） 入学定員18名（収容定員36名）</p> <p>●健康生活科学研究科（博士後期課程） 入学定員6名（収容定員18名）</p> <p>大学院合計 入学定員39名（収容定員84名）</p>	<p>◎看護学研究科 看護学専攻 <u>博士前期課程</u>：入学定員15名（収容定員30名） <u>博士後期課程</u>：入学定員3名（収容定員9名） 共同災害看護学専攻： （博士課程5年一貫）入学定員2名（収容定員10名）</p> <p>○人間生活学研究科 人間生活学専攻 <u>博士前期課程</u>：入学定員18名（収容定員36名） <u>博士後期課程</u>：入学定員3名（収容定員9名）</p> <p>大学院合計 入学定員41名 （収容定員94名）</p>
専攻・領域	<p>◎看護学研究科（修士課程） 看護学専攻</p> <p>○人間生活学研究科（修士課程）人間生活学専攻 複合領域（生活科学領域/社会福祉領域/文化領域）</p> <p>●健康生活科学研究科（博士後期課程） 健康生活科学専攻 複合領域（看護学領域/生活科学領域/社会福祉学領域）</p>	<p>◎看護学研究科 看護学専攻 <u>博士前期課程</u>：看護学専攻 <u>博士後期課程</u>：看護学専攻 共同災害看護学専攻（博士課程5年一貫）</p> <p>○人間生活学研究科 人間生活学専攻 <u>博士前期課程</u>： 複合領域（栄養・生活領域/社会福祉領域/文化領域） <u>博士後期課程</u>： 複合領域（栄養・生活学領域/社会福祉学領域）</p>
修業年限	<p>◎看護学研究科（修士課程） 2年</p> <p>○人間生活学研究科修士課程 2年 長期履修制度（3年）あり</p> <p>●健康生活科学研究科（博士後期課程） 3年</p>	<p>◎看護学研究科 <u>看護学専攻</u> <u>博士前期課程</u>：看護学専攻 2年 <u>博士後期課程</u>：看護学専攻 3年 共同災害看護学専攻（博士課程5年一貫）</p> <p>○人間生活学研究科 <u>人間生活学専攻</u> <u>博士前期課程</u>：2年、長期履修制度（3年）あり <u>博士後期課程</u>：3年</p>
学位	<p>◎看護学研究科（修士課程） 看護学専攻：修士（看護学）</p>	<p>◎看護学研究科 看護学専攻：<u>博士前期課程</u>：修士（看護学） <u>博士後期課程</u>：博士（看護学） 共同災害看護学専攻 博士（看護学） (DNGL: Disaster Nursing Global Leader)</p>

	<p>○人間生活学研究科（修士課程） 人間生活学専攻：修士（生活科学）、修士（社会福祉学）、修士（学術）</p> <p>●健康生活科学研究科（博士後期課程） 健康生活科学専攻 博士（看護学）、博士（生活科学）、 博士（社会福祉学）、博士（学術）</p>	<p>○人間生活学研究科 人間生活学専攻 <u>博士前期課程</u>： 修士（生活科学）、修士（社会福祉学）、 修士（学術）</p> <p><u>博士後期課程</u>： 博士（生活科学）、博士（社会福祉学）、 博士（学術）</p>
取得免許	<p>◎看護学研究科 看護学専攻：博士前期課程（修士課程） 専修免許 看護、養護 専門看護師受験資格</p> <p>○人間生活学研究科（修士課程） 専修免許（英語・栄養）申請中</p>	<p>◎看護学研究科 看護学専攻：博士前期課程 専修免許 看護、養護 専門看護師受験資格</p> <p>○人間生活学研究科 人間生活学専攻：<u>博士前期課程</u> 専修免許（英語、栄養）認可見込み</p>
その他		<p>今後のスケジュール： 学内会議に付議、承認を経て、平成24年10月理事会の承認を得る。この後、平成24年度中の事前相談を経て、平成25年届出あるいは設置申請を行い、平成26年4月より入学生の受け入れを実施する。 平成25年度に実施する入試は、<u>新研究科</u>の募集内容で行う。</p>